

分数の通分、約分の意味を理解している。

- 1 あかりさんは、5年生のときに、分母のちがう分数のたし算を学習しました。あかりさんが $\frac{1}{2} + \frac{1}{6}$ を計算すると答えは $\frac{2}{3}$ になりました。となりの席のともみさんと答えを^{かくにん}確認すると、あかりさんと、ともみさんの答えはちがっていました。

そこで、あかりさんはともみさんの計算式を見せてもらうことにしました。あかりさんは、あることに気が付き、このように声をかけました。



あかりさん

答えは□ではなく、 $\frac{2}{3}$ になるはずだよ。2と6の最小公倍数を使って通分してから、たすところまでは同じだけれど、ともみさんは、その後、答えを約分し^{わす}忘れてるんだよ。



ともみさん

本当だ。通分はしたけれど、計算した後の数を約分すればよかったのだね。

ともみさんはどのような答えを書いていたのでしょうか。分数で表しましょう。

【正答】

$$\frac{4}{6}$$